

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元年 12月 3日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471900518		
法人名	社会福祉法人 慈照会		
事業所名	グループホームふの慈照園		
所在地	広島県三次市布野町上布野11059-2 (電話) 0824-54-7111		
自己評価作成日	令和元年10月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3471900518-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年11月21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

基本理念でもある「笑顔・応援・安心」をもとに、利用者、家族の方に家庭的な雰囲気の中で、その方が有する能力に応じて可能なかぎり自立した生活が送れるよう支援いたします。同法人の関連施設と、姉妹法人でもある医療法人微風会と、常に連携し定期的な受診および健康管理に努めています。また、地域への参加を積極的におこない、事業所としての活動やPRに取り組んでいます。市内の地域密着サービス事業所主催の研修会を行い認知症講演会や情報交換会に参加し、認知症に関する知識を深め職員の質の向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

近隣には市役所の支所、社会福祉協議会があり、地域会議の出席や事業所の現状を伝えたり、行事のポスターをお願いするなど連携を図りやすい環境となっている。地域交流も盛んにあり、保育園、小中学校との交流や祭りなど地域行事の参加などを行っており、地域に根ざした取り組みを行っている。職員の手洗い、うがいの徹底、室温管理、湿度調整などの取り組みにより、開所以来インフルエンザ、ノロウイルスの感染症を発症した事例がない。気候や利用者の意向に応じ日常の散歩、外出、外食を定期的に行っており、楽しみがもてるようにしている。同法人に福祉施設が複数有り、また、姉妹法人に医療機関があり、連携を図ったり、重度化した場合等の受け入れもスムーズにいくため、安心して過ごせるよう努めている。

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を基に、グループホームふの慈照園独自の基本理念を策定し、事務所内に掲げている。	法人理念を基に、事業所の理念を掲げている。理念は、開所当時からのものであり、職員に浸透している。また、毎年行動目標を法人全体の公募により策定し、毎日朝礼時に唱和している。今年度は「笑顔で対応、みんなの元気」、「人の思いを感じ取れる職員になろう」であり、職員間で理解、意識した上で実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事（秋祭り・ふれあい祭り・保育所交流・小中学校）に参加している。また職員も地域の会議に参加している。	「安心ネットワーク」という地域会議や「地域密着型事業所連絡会」に職員が参加する等地域づくりに参画している。また、保育園、小中学校の行事や地域の祭りなどの参加や、外出時地域の人と挨拶を交わしたり、近所の人から野菜などのおすそわけもあり、地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域密着型サービス事業所連絡会が主催する認知症講演会の参加を呼び掛けている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で近況報告、利用状況を説明し、意見を頂いてサービスの向上に努めている。	運営推進会議には地域ボランティア、民生児童委員協議会、高齢福祉課、社会福祉協議会、家族代表等が参加している。会議では事業所の取組み、利用状況など伝えている。会議で参加者から災害時の停電対策や地域の行事の案内など意見や情報をいただき、運営に活かした事例がある。	参加メンバーが固定しているため、テーマによって警察、消防など地域からの幅広い人選や、家族に会議録を送付し、会議内容を伝え、参加していただけるように取組み、会議が活性化できるよう期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議を通じて、市の高齢者福祉課や布野支所保健師の方と情報交換を行っている。緊急の場合、包括支援センターへ連絡を行うなどしている。	事業所の近くに社会福祉協議会、市役所の支所があり、法人、事業所の行事などのポスターをお願いしたり、情報交換を行うなど密に連携を図っている。また、地域包括支援センターより緊急で利用者の情報をいただき対応することや、行政の研修会に職員が参加するなど協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人で身体拘束の研修を行っている。また日頃から身体拘束に関し、スピーチロック等を職員間で確認している。玄関も日中は施錠していない。	スピーチロックを含めた研修会を定期的に行っており、職員間で身体拘束について正しい理解をしており、実践につなげている。転倒などのリスクのある利用者については、会議などを通じて話し合い、ケアの工夫によって対応を行うように努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修を行い、利用者の虐待防止に努めている。管理者や職員は利用者の表情や身体状況を確認するようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等で必要性を学び周知している。現在1名、他ユニットで後見人制度利用の方がおられ、情報を共有している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は内容をしっかり説明し、理解を得ている。独自にチェック表を作成している。また不明な点があればいつでも連絡してもらうように話をしてる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関内に意見箱を設置していることや、苦情窓口を重要事項等に明記している。また利用者家族には、年1回の家族会でアンケートを実施し、意見をいただいている。	年に1回の家族会の中でアンケートを行うとともに日頃も面会時や電話等でも家族から意見を頂いている。食事に関することや外出の希望、畑作業の要望などの内容を運営に活かし、家族と密に連携を図り、思いを聞けるように努めている。利用者については日常の中から意見を汲み取っている。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼や会議・年2回の人事評価制度時に職員との話し合いを設け、そこで出た課題や改善点を検討する。	月1回の部署会や朝礼、日頃の業務の中でも職員からの意見を聞く機会を設けており、個人面談も行っている。職員の希望、意見により、勤務シフトの調整、整理棚、室温計などの物品購入を行うことや個々のケアに関することなど様々ある。職員の声に耳を傾け、運営に反映させる体制に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に2回人事評価制度を行っている。自己評価を行い、それを上司がさらに評価する。職員と上司は面談を行い、目標等を立てる。賞与に反映する。資格取得者には一時金を支給している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月1回は法人内で研修を実施し、個々に応じて他の研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市内の地域密着事業所が集まり、情報交換を年6回。同一法人・姉妹法人との連携による看介護合同研修を開催し交流を深めている。主任・相談員による会議にて交流している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接時に本人さんの要望や不安なことを把握し、また関係機関からの情報収集を行っている。入居時に本人さんが安心して生活できるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学時や契約時に利用内容の説明を行い、家族の不安なことや不明な点を聞き出している。いつでも相談できますと話をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人や家族の困っていることや、不安なこと、希望等を把握し介護計画を作成。安心して生活してもらえよう対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	掃除や料理の下ごしらえを手伝ってもらっている。できることはしていただきながら、職員とコミュニケーションを図る。信頼関係を築く努力をしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月1回便りで本人さんの近況をお知らせしている。面会時には生活状況を説明したり、情報交換を行い、コミュニケーションを図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族や知人等の来園時、居室にてコーヒーお茶を提供しゆっくり話ができるよう努めている。地域のボランティア方に定期的に来ていただいたり、小中学校、保育所との交流会に参加している。	本人の情報を得た上で対応しており、ドライブを行うことや地域行事するなど馴染みの場所に出掛けている。外出先で知り合いの人や近所の人に会うこともある。家族の協力のもと、自宅での外出、外泊もあり、馴染みの人や場との関係が継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食堂にて利用者同士の関係を把握し、位置を工夫している。レクレーションもみんなが楽しめ、関わられるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院時は面会に行き、状態把握に努めている。医師の説明の同席や退所後の意向等、継続して話をしている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的に行う行事以外は、本人の希望に合わせ、塗り絵・ちぎり絵・歌を歌う・テレビ鑑賞等自由な時間を過ごしてもらうようにしている。また本人の希望がない場合は、家族に自宅にいた時の趣味等を聞き出している。	利用者の暮らし方や生活習慣を把握した上で事業所の生活での意向や思いを探っている。畑仕事、大作業や食事準備など本人の生活歴を活かした取り組みや趣味に応じて塗り絵やパズルを行うなど、個々の思いを尊重し、対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面接時に生活歴、趣味の把握に努めているが、十分でないため、後日家族の来訪時や電話にて聴取するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	家族・本人の面接時や会話など、日々の暮らしの中から、個々に応じた趣味・習慣を把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画を作成するときは、家族や本人の希望等を聞き、職員間でカンファレンスを行う。2回目以降も同様にし、モニタリングを基に介護計画を作成する。</p>	<p>本人、家族の意向を踏まえた上、担当職員から個々の利用者の情報を得て、介護計画作成者が介護計画を作成する。利用者の強みや取り組めることを踏まえ現状に即した計画になっている。サービス内容についてのモニタリングのチェックを毎日行い、次回の介護計画作成に活かしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>独自の生活記録簿に日々の様子を記入することにより、職員間の情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>担当者が個々の内容を常に把握し、要望や体調管理を配慮しながら柔軟な支援をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議で意見を聴き、ボランティアや民生委員、消防機関と協力しながら支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族の了解を得て、神経内科を定期的に受診している。症状や希望によっては他の医療機関への受診を支援している。</p>	<p>家族に了解を得た上でかかりつけ医を決めており、事業所の姉妹法人の協力医に変更する場合は殆どである。協力医は神経内科、眼科、皮膚科などあり、総合的に診ることができ、職員が送迎、付き添いの支援をしている。歯科は月1回往診があるなど、適切な医療を受けられる体制に務めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	定期受診をする医療機関の看護師が健康チェックを行っている。また特変があれば電話連絡を行い、指示を仰いだりしながら健康管理に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院患者がおられる場合は、主治医や看護師から状態の確認に努めている。また医療機関の相談員と情報交換を行いながら、退院時に備えて連携している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合や終末期のあり方についてや、看取り指針について入所時に説明している。また主治医と相談しながら全員で方針を共有していくことを説明している。	入所時に重度化、終末期の事業所の対応、できることについて説明し、家族の意向を伺っている。家族が事業所で看取りを強く希望される場合は考慮する形となるが、利用者の状態に応じ、家族に早めに他施設の申し込みを勧めている。事業所で対応可能な場合は職員で統一したケアで支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを確認しておくように説明している。緊急時の対応について研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を年2回実施している。また地域の消防団に施設見学をしていただき、災害時の救助について話をしている。	日中、夜間想定と避難訓練を実施しており、消防署の協力も得ている。災害に備えてカップ麺、飲料水、食材の備えもある。地域で行われる避難訓練にも参加し、防災に対する意識を高めるとともに、地域との協力体制も築くように努めている。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	会議等でプライバシーの確保や、声掛けに気を付けるよう心掛けている。	法令遵守、接遇等の研修を行っており、言葉遣いやプライバシーに注意し、利用者の支援を行っている。職員の対応で気になることがあれば、その場で注意したり個別の面談で話すこともある。「排泄時に扉を閉める」、入浴は可能な限り同性介助で行うなど、人格を尊重した対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自分で決めて納得しながら暮らせるように支援し、自己決定できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	定期的に行う行事以外は、個々にあった自由な時間を過ごせるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その人に合った服装を重視し、常に清潔にした着やすいものを身に着けてもらっている。また出張理容訪問により頭髪の乱れにも気を付けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	園の畑で四季に応じた野菜を栽培し、調理の下準備をしてもらいながら食事の楽しみを実感してもらうようにしている。	3食とも職員の手作りで提供し、事業所の畑で利用者と一緒に収穫した旬の野菜を使用することもある。食事の準備や後片付けも利用者の能力を活かしながら行っている。ちらし寿司など利用者の希望をメニューに加えたり、外食もあり、食事を楽しむことができるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養バランスを考えた献立表を作成し提供している。また食事の記録により個々に応じた量や、一日を通じお茶の時間を決め水分補給を習慣化している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後個々の状態により、口腔ケアを実施している。確認しながら介助を行い清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を作成し、リズムを把握しながら、個々に応じ排泄時間にはトイレ誘導を行う支援をしている。</p>	<p>排泄の記録をもとに利用者の排泄パターンを把握し、個別支援を行っている。日中はトイレでの排泄を基本とし、夜間ポータブルトイレを使用する利用者もいる。本人の残存能力を活かした取り組みにより、紙パンツ・パットから布パンツに移行した入居者もあり、自立に向けた対応ができています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェックを行い、予防や対応のため散歩や運動をしていただく。それでも出ない場合は主治医に相談し、薬の服用をしていただいている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週の曜日で入浴日を決めているが、本人の体調や希望等で入浴時間や日に変更している。</p>	<p>入浴は基本的に週2回実施し、状況を見て入浴時間を決めている。本人が希望しない場合等時間帯、日にちを変更したり、体調に応じ清拭にすることもあり、個々に応じ柔軟に対応している。入浴剤を使用や、地域の方から戴いたゆず、レモンを入れたり入浴が楽しめることができる支援をしている。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活習慣や体調確認により、日々安心して気持ちよく過ごせるようにし、また穏やかな時間を共有し安眠への支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的や副作用、用法等を理解している。服薬時は必ず職員が支援し、飲み込み確認を行っている。薬が変更になった場合は全職員で周知をおこない、記録に残すようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	本人の生活歴により、農作業や掃除、レクリエーション等を支援している。また嗜好品も利用者個々の要求や家族の希望を聞き対応している。趣味等も居室や食堂にて楽しんでもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	四季を通じてドライブ等を計画し実施している。また外出時におやつを買ったり、食事をすることで楽しんでもらっている。	近隣への散歩や車でのドライブ、回転寿司、定食屋、道の駅での外食、法人行事、地域行事での外出などを定期的に行っている。また、事業所の敷地内にテーブルを出して花見を行うことや、家族による自宅への外出、外泊もあり個々の希望に応じ、日常的に戸外に出掛けられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個々の希望や管理能力等を把握し、ご家族と相談している。本人が持つ場合はお小遣い程度にしてもらうようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>要望があれば電話や手紙のやり取りができるようにしている。電話をかけたという利用者が特に多い。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室や共用部分は常に清潔にし、心地よく過ごせるようにしている。季節感のある掲示物や置物等を飾って工夫している。</p>	<p>掲示物の担当職員がおり、利用者が作成した制作物や書道、行事の写真を貼るなど温かみ、彩りを感じられるよう工夫している。観葉植物を置いたり、居間の窓からは桜、紅葉も眺められ、季節を感じる事が可能である。掃除も行き届いており、室温、湿度にも気を配り、居心地よく過ごせる環境を整えている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>広間以外にもソファを置くなどして、居室以外の場所でも過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家族と相談し、馴染みの物を置くなど個々の居室に配慮している。</p>	<p>自宅で使い慣れた馴染みの物を持参され、仏壇、タンス、テレビなど持ち込まれている。また、家族の写真やぬいぐるみなど思い思いの物があり、自宅同様の落ち着きが得られる環境となっている。入居前自宅に出向き、部屋の様子を事前に見ておき、事業所での居室づくりの参考にしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立した生活が送れるよう、廊下やトイレに手すりが設置してあり、安全面に配慮している。居室やトイレが分かるように、ネームプレートを使用している。</p>		

V アウトカム項目(さくら) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を基に、グループホームふの慈照園独自の基本理念を策定し、事務所内に掲げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事（秋祭り・ふれあい祭り・保育所交流・小中学校）に参加している。また職員も地域の会議に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域密着型サービス事業所連絡会が主催する認知症講演会の参加を呼び掛けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で近況報告、利用状況を説明し、意見を頂いてサービスの向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議を通じて、市の高齢者福祉課や布野支所保健師の方と情報交換を行っている。緊急の場合、包括支援センターへ連絡を行うなどしている。		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人で身体拘束の研修を行っている。また日頃から身体拘束に関し、スピーチロック等を職員間で確認している。玄関も日中は施錠していない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修を行い、利用者の虐待防止に努めている。管理者や職員は利用者の表情や身体状況を確認するようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等で必要性を学び周知している。現在1名、後見人制度利用の方がおられる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は内容をしっかり説明し、理解を得ている。独自にチェック表を作成している。また不明な点があればいつでも連絡してもらうように話をしてる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関内に意見箱を設置していることや、重要事項等に明記している。また利用者家族には、年1回の家族会でアンケートを実施し、意見をいただいている。		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼や会議・年2回の人事評価制度時に職員との話し合いを設け、そこで出た課題や改善点を検討する。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に2回人事評価制度を行っている。自己評価を行い、それを上司がさらに評価する。職員と上司は面談を行い、目標等を立てる。賞与に反映する。資格取得者には一時金を支給している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月1回は法人内で研修を実施し、個々に応じて他の研修も参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市内の地域密着事業所が集まり、情報交換を年6回。同一法人・姉妹法人との連携による看介護合同研修を開催し交流を深めている。主任・相談員による会議にて交流している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接時に本人さんの要望や不安なことを把握し、また関係機関からの情報収集を行っている。入居時に本人さんが安心して生活できるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学時や契約時に利用内容の説明を行い、家族の不安なことや不明な点を聞き出している。いつでも相談できますと話をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人や家族の困っていることや、不安なこと、希望等を把握し介護計画を作成。安心して生活してもらえるよう対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	掃除や料理の下ごしらえを手伝ってもらっている。できることはしていただきながら、職員とコミュニケーションを図る。信頼関係を築く努力をしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月1回便りで本人さんの近況をお知らせしている。面会時には生活状況を説明したり、情報交換を行い、コミュニケーションを図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族や知人等の来園時。居室にてコーヒーお茶を提供しゆっくり話ができるよう努めている。地域のボランティア方に定期的に来ていただいたり、小中学校、保育所との交流会に参加している。		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食堂にて利用者同士の関係を把握し、位置を工夫している。レクレーションもみんなが楽しめ、関わられるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院時は面会に行き、状態把握に努めている。ICの同席や退所後の意向等、継続して話をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的に行う行事以外は、本人の希望に合わせ、塗り絵・ちぎり絵・歌を歌う・テレビ鑑賞等自由な時間を過ごしてもらおうようにしている。また本人の希望がない場合は、家族に自宅にいた時の趣味等を聞き出している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面接時に生活歴、趣味の把握に努めているが、十分でないため、後日家族の来訪時や電話にて聴取するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	家族・本人の面接時や会話など、日々の暮らしの中から、個々に応じた趣味・習慣を把握するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護計画を作成するときは、家族や本人の希望等を聞き、職員間でカンファレンスを行う。2回目以降も同様にし、モニタリングを基に介護計画を作成する。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	独自の生活記録簿に日々の様子を記入することにより、職員間の情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	担当者が個々の内容を常に把握し、要望や体調管理を配慮しながら柔軟な支援をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	運営推進会議で意見を聴き、ボランティアや民生委員、消防機関と協力しながら支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	家族の了解を得て、神経内科を定期的に受診している。症状や希望によっては他の医療機関への受診を支援している。		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	定期受診をする医療機関の看護師が健康チェックを行っている。また特変があれば電話連絡を行い、指示を仰いだりしながら健康管理に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院患者がおられる場合は、主治医や看護師から状態の確認に努めている。また医療機関の相談員と情報交換を行いながら、退院時に備えて連携している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合や終末期のあり方についてや、看取り指針について入所時に説明している。また主治医と相談しながら全員で方針を共有していくことを説明している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを確認しておくように説明している。緊急時の対応について研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を年2回実施している。また地域の消防団に施設見学をしていただき、災害時の救助について話をしている。		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	会議等でプライバシーの確保や、声掛けに気を付けるよう心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自分で決めて納得しながら暮らせるように支援し、自己決定できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	定期的に行う行事以外は、個々にあった自由な時間を過ごせるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その人に合った服装を重視し、常に清潔にした着やすいものを身に付けてもらっている。また出張理容訪問により頭髪の乱れにも気を付けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	園の畑で四季に応じた野菜を栽培し、調理の下準備のしてもらいながら食事の楽しみを実感してもらうようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養バランスを考えた献立表を作成し提供している。また食事の記録により個々に応じた量や、一日を通じお茶の時間を決め水分補給を習慣化している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後個々の状態により、口腔ケアを実施している。確認しながら介助を行い清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を作成し、リズムを把握しながら、個々に応じ排泄時間にはトイレ誘導を行う支援をしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェックを行い、予防や対応のため散歩や運動をしていただく。それでも出ない場合は主治医に相談し、薬の服用をしていただいている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週の曜日で入浴日を決めているが、本人の体調や希望等で入浴時間や日を変更している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	一人ひとりの生活習慣や体調確認 により、日々安心して気持ちよく 過ごせるようにし、また穏やかな 時間を共有し安眠への支援を行っ ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている。	薬の目的や副作用、用法等を理解 している。服薬時は必ず職員が支 援し、飲み込み確認を行っている。 薬が変更になった場合は全職員で 周知をおこない、記録に残すよう にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ぎせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。	本人の生活歴により、農作業や掃 除、レクリエーション等を支援し ている。また嗜好品も利用者個々 の要求や家族の希望を聞き対応 している。趣味等も居室や食堂に て楽しんでもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	四季を通じてドライブ等を計画し 実施している。また外出時におや つを買ったり、食事をすることで 楽しんでもらっている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を所 持したり使えるように支援してい る。	個々の希望や管理能力等を把握し 、ご家族と相談している。本人が 持つ場合はお小遣い程度にしま らうようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(こぶし)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>要望があれば電話や手紙のやり取りができるようにしている。電話をかけたという利用者が特に多い。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室や共用部分は常に清潔にし、心地よく過ごせるようにしている。季節感のある掲示物や置物等を飾って工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>広間以外にもソファを置くなどして、居室以外の場所でも過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家族と相談し、馴染みの物を置くなど個々の居室に配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立した生活が送れるよう、廊下やトイレに手すりが設置してあり、安全面に配慮している。居室やトイレが分かるように、ネームプレートを使用している。</p>		

V アウトカム項目(こぶし) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふの慈照園

作成日 令和2年1月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の構成メンバーが固定化されており、新しい意見が出にくい状況がある。	現状のメンバーに加え、不定期の参加メンバーを検討し、参加いただく。	地域の商店や警察にお声掛けをし、参加をお願いする。	12ヵ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。